



広報

なかぐすく

Nakagusuku



URL <http://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>

No. 134
2005. 9.20



昔のおもちゃを作ったよ♪

昔のおもちゃづくりを通してお年寄りと子どもの交流を図ろうと8月16日、老人福祉センターでふれあいの集いが行われた。(16ページに関連記事)

村内の伝統行事、各地で開催



▲村内外の多勢の見物人を魅了した当間の大綱引き。



▲総勢約200名が参加。当間公民館前の村道吉の浦線を練り歩いた道ジュネー。



▲多くの観客が見守る中雄綱と雌綱が結ばれた当間の大綱引き

30数年ぶりに復活 ～泊の旗頭～



▲五穀豊穡・家内安全を祈願する泊の旗頭。区民総出で4箇所の拝所と区内を練り歩いた。

8月21日、泊に昔から伝わる旗頭が30数年ぶりに復活し泊地区内を区民総出で練り歩いた。島袋勘治会長は「一年前から自治会の活動を活性化させるために旗頭の復元に取り組んできた。子どもたちも地域の伝統行事に参加させ地域住民の交流と発展を図りたい」と復活を喜び語った。

旧盆明けの八月二十日・二十一日、津覇エイサーや獅子舞、和宇慶獅子舞、泊旗頭・添石旗頭、当間の綱引きなど村内各地で伝統行事が開催され、多くの区民が地域の行事に参加し盛り上がりを見せた。

7年越しの大綱引き、当間の綱引き

旧盆明けの八月二十日(旧歴七月十七日)、当間最大のイベントである綱引きが開催された。今年は、卯年と酉年の七年ごとに引く大綱引きが行われた。当間の綱引きは、中城殿内の奉公人であった比嘉喜保翁が首里の綾門大綱を観て、これを参考に八八六年(明治十九年)旧七月十八日に大綱を演出したのが起源と言われている。毎年行われる綱引きを「シージナ」といい、これに対して卯年と酉年(七年ごと)に引く大綱(ウーシナ)を「マルジナ」と呼んでいる。区を上下に分けて上が雄綱、下が雌綱を引く。綱が短く、重くないこともあって、綱を担いだ

ままカヌチ棒を貫くのが特徴。カヌチ棒が通された瞬間、大きな掛け声とともに区民総出で綱が引かれた。二回行われた綱引きは、一回目は下地区、二回目は上地区が勝利した。

綱引きに先立つ道ジュネーでは「和気」「清風」「協力」「致」「南北豊年」と書かれた旗頭を先頭に青年のほら貝、小太鼓、四つ竹など約二〇〇名の演舞が観客の目を引いた。

喜屋武自治会長は「今年は七年に一度の大綱引きで区民一体となって取り組んできた。素晴らしい伝統を今後も継承し区の発展につなげていきたい」と話した。



▲左から桃原エリカバトリシアさん、新垣アンヘリカスサナさん、高良ユミタチアナさん。

ようこそ!中城村へ

今年の海外移住者子弟研修生として、高良ユミタチアナさん(ブラジル:津覇出身)、新垣アンヘリカスサナさん(アルゼンチン:和宇慶出身)、桃原エリカバトリシアさん(ペルー:和宇慶出身)の3名が3ヶ月間、両親の故里沖縄で研修を行います。

3名は、日本語の他、沖縄の文化を学び南米との架け橋になることが期待されます。

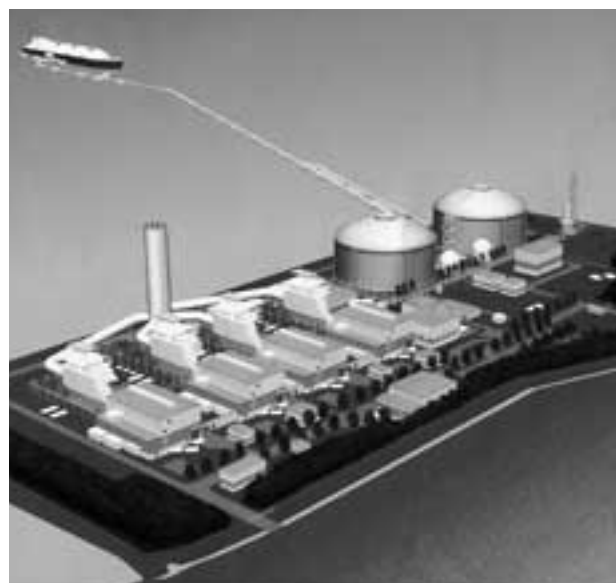
桃原エリカさんは「沖縄のことをたくさん学び、帰国して多くの人に教えたい」と話した。

1年間の任期を終えたマイケル・ライオンさんの後任として、ヤセミン・チャクマクさんとジェニファー・アクネさんの2名が新しい英語指導助手(ALT)としてそれぞれ中学校と幼稚園・小学校で英語を教えます。ヤセミンさんはトルコ出身、ジェニファーさんはカナダ出身。2人とも沖縄が大好きで、沖縄の文化や歴史も学びたいと抱負を語った。



▼前列左からヤセミン・チャクマクさん、村長、ジェニファー・アクネさん。

吉の浦火力発電所の事業計画 及び環境影を説明



▲吉の浦火力発電所の完成予想図

沖縄電力は、去る七月十七日(日)吉の浦会館において吉の浦火力発電所事業計画及び環境影響評価準備書の説明会を開催した。説明会には村民多数が出席し、熱心に説明を聞いた。

説明会では、発電所計画を進めるにあたり、平成十五年五月から約一年間をかけ建設予定地周辺環境の現況調査を行い、その結果と環境保全のための対策を踏まえた環境影響予測・評価結果について説明がなされた。

吉の浦火力発電所の計画については、平成十八年に着手し、二号機が平成二十二年度、二号機が平成二十三年度、三号機が平成二十八年、四号機が平成三十二年に運転開始する予定。



▲いろいろな物を使って風や雨を表現。子供たちも実際に舞台上がって楽器に触れた。

本物の舞台芸術体験事業

7.回の演技に
ワクワクドキドキ



七月二十五日、吉の浦会館で劇団前進座によるミュージカル「かんがえるカエルくん」が演じられ、親子連れなど約五〇〇名が劇を楽しんだ。

これは、次の世代を担う子ども・青少年に、優れた芸術を鑑賞し感激することで豊かな心を育てようと文化庁が行っている本物の舞台芸術を体験する事業の一環として開催。

お話の中に登場するカエルくんを通して、心はどこにあるのかなど、疑問を子どもたちに投げかけていた。

また、様々な楽器を使って森の音を作り出し、また巧みな演技で子供たちの心を引きつけていた。

中城小学校の比嘉さらさんは「登場する動物たちはどれもかわいい。色々な音がして本当に森の中にいるみたい」と多くの参加者もプロの演技にワクワクドキドキした。



◀ボランティアスクールで先生の腕につかまり、恐る恐る歩く児童等＝村老人福祉センター

「思いやりの心」を学んだよ

見えないうって どんな感じ？

村ボランティアスクール
思いやりの心を育み地域への関心も深めてもらおうと、七月二十九日老人福祉センターで「村ボランティアスクール」が開講し、村内の小学生等三十名が体験学習した。

午前中はワークシヨップを行い、午後はアイマスクを着用して点字で名刺づくりに挑戦した。参加者は昼

食を食べるのも、トイレに行くのもすべてアイマスクを着用したままで、手探りの状態に悪戦苦闘していた。午後の講師、比嘉信子さんは「目が見えないとき、相手に分かるように言葉できちんと伝えることが大切。例えば、方向を示すときは時計回りに時間で教えるとかかりやすい」と見えないうものを的確に表現するコツを教えた。

津覇小学校六年生の呉屋利希さんは「アイマスクをしたまま弁当を食べたとき、おはしを口の中に運ぶ

までに何を持っているのか、ちゃんと箸で持てているのか、不安でした」と話した。

また、中城小学校四年生の徳元駿樹くんは「弁当を食べるとき、食べたいものをうまく探せなかったので、手で直接食べた」ととても疲れた様子で話した。



▶参加型平和学習で「中城人の誓い」を発表した。

長崎平和学習

平和とは何か・・・

戦争を知らない若い世代に戦争の愚かさ、平和の尊さを学ばせ、後世へ伝えていくことを目的として、中城村は與座沙里さん(中城中3年)、比嘉梨奈さん(中城小6年)、糸数未来(津覇小6年)の3名を長崎で行われた青少年ピースフォーラムへ派遣しました。

この平和学習に参加した3名を代表して糸数未来さんのレポートを紹介します。



▲被爆地・長崎の平和記念式典に参加した3名。與座沙里さん(左)、糸数未来さん(中央)、比嘉梨奈さん(右)

青少年 ピースフォーラムに 参加して

津覇小学校六年
糸数未来

私たちは、戦争と平和について深く考えるために長崎に行きました。被爆体験講話では、被爆者の話を聞きました。心に残ったのが、「平和とは、人の痛みを知る心」と言っていたことです。

人の痛みを知る人は、こんな原爆なんか落としたりはしない、逆に人の痛みを知らない人は、こんな事も平気でできるんだと思いました。私たちは、平和を妨げる身近な問題、大きな問題について深く考えました。身近な問題では、いじめについて考えました。相手のことをよく知り、自分との違いを受け入れ、自分のことをよく分かつてもうすることが大事だとわかりました。

八月九日の平和記念式典にも参加し、献水献花が終わった後、みんなで原爆が投下された時刻十二時二分に黙とうしました。私は「原爆が投下された長崎。この原爆投下が最後になりますように。みんなで助け合って平和な世界を築いていける

ようにしたい」と願いを込めました。平和宣言では、「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ」という言葉が心に残りました。それから千羽鶴という歌がありました。その歌の最後に「未来への希望と夢を虹色の鶴に祈る」というところがあり、私は歌に感動して口ずさんでいました。その時、私は「これからは自分たちが平和の大切さ、争いの悲惨さをよく理解して多くの人にも伝えていくんだ」と心に決めました。

その後、参加型平和学習で、私と中城村から一緒に参加した沙里さんと梨奈さんとで平和について「中城人の誓い」をテーマに「私たちは争いのない平和を築くために、相手のことをよく知り、個人の違いを受け入れ、自分がないよいところを見つけ、相手の気持ちになり、ゆいまいの心をもって行動すること」を誓いました。私は、これまで聴いて話しかけたこと、感じたことなどを中城でも活かせるようにしていきたいと思



▶お箸だとお弁当の中身が分からないので手で食べたという徳元くん＝村老人福祉センター

初めての体験 車椅子バスケット

中・高校生ボランティア講座

中城村社会福祉協議会と北中城村社会福祉協議会は八月二日・三日、中・高校生を対象にボランティア講座を開講した。

初日は中城村でワークシヨップとスポーツ交流。車いすツインバスケットボールチーム沖縄フェニックスのメンバー等の指示を仰ぎながら交流



▶車いすバスケットで交流を深める中・高校生＝村民体育館

参加した中城中学校三年の儀間七重さんと岩下千尋さんは「車いすバスケットは初めての体験。ボールを持って車いすを動かすのは難しいが多くの人に会えて楽しい」と話した。

二日目は、北中城村で二日間出会った人と一緒にできるイベントを考えた。参加者はこの講座で、地域の中で支え合って生きることができるかを、その中で自分には何ができるかを真剣に考えていた。



案内・お知らせ



募集

NHK学園生涯学習 通信講座受講者募集

【講座】

俳句、短歌、川柳、書道、ペン字、絵画、手芸、英語、ハンゲル、中国語、資格、福祉資格、教養など
【受講期間】 3ヶ月～1年
【申込み】 年中受付

【お問い合わせ】

NHK学園
電話 **042(572)3151**
0120-06-8881
(資料請求のみ)



相談

法律相談及び 多重債務問題相談

全国の司法書士会では毎年10月1日法の日を中心に全国一斉無料司法書士法律相談を実施しています。

下記の日程で、相談を実施することになりました。

日時：平成17年10月1日
午前10時～午後4時

場所：吉の浦会館

内容：司法書士法律相談
(登記・訴訟・多重債務相談等)

対象：一般住民

無料調停相談

コザ調停協会では、土地、建物、交通事故、金銭の貸し借り等のもめごとで困っている人や、離婚、相続、遺産分割などの家庭内の問題で悩んでいる方々を対象に無料調停相談を下記の日程で行います。

尚、無料相談の内容についての秘密は厳守されます。

日時：平成17年10月6日
午前10時～午後4時
場所：沖縄市農民研修センター
【お問い合わせ】
那覇地方裁判所沖縄支部内
コザ調停協会
沖縄市知花6-7-7
電話 **939-0011(311)**

行政相談所を開設

中城村では、下記の日程で行政相談所を開設し、村民の皆さんからの苦情や要望を聞きながらサービスの改善を進めます。

【このような場合にご相談を】

- ◎説明に納得がいかない
- ◎どこに言えばよいか分からない
- ◎このようにしてほしい

行政相談員桃原廣一さんが相談に応じます。

とき：10月17日～21日
時間：10時～16時まで
場所：老人福祉センター
電話：**895-5661**
895-5674 (自宅)



お知らせ

全国都市交通特性調査にご協力を

全国の交通特性を把握するため、国土交通省は中城村をはじめとした全国62市60町村と協力して人の動きに関する交通実態調査を行います。

調査の対象は村内から無作為に選んだ約200世帯を予定しています。

対象となった世帯には、10月～11月ごろに、調査票を郵送しますのでご協力をお願いします。

【お問い合わせ】

中城村役場都市計画課
電話 **895-2131**

第16回中部トリム マラソン大会

期日：平成17年11月20日
雨天決行
場所：沖縄県総合運動公園
陸上競技場
種目：20km、10km、
5km、3km、2km
申込：沖縄県総合運動公園
陸上競技場
電話：**930-5701**
期間：10月1日～16日
各郵便局窓口、インターネット
(<http://www.runnet.jp>)
からも申込みできます。

学校給食費について

学校給食は、保護者の皆さんの納める給食費でまかなわれています。

毎月納めて頂かないと食材料の質、量を落とした給食を取らざるを得ないこととなりかねません。健全な学校給食運営のために、全保護者が滞納なく毎月納めて頂くようお願い致します。

学校給食費の納付期日は、毎月10日となっております。(8月を除く)

【お問い合わせ】

中城村学校給食共同調理場
電話 **895-5701**

村社会福祉協議会では、 ふれあい総合相談所を 開設しています!!

総合相談 → 毎週月～金曜日
10時～16時
法律相談 → 毎月第1,3火曜
14時～16時
行政相談 → 毎週水曜日
10時～16時
消費者生活相談 → 毎週金曜日
10時～16時

【お問い合わせ】

TEL 895-6788

第12回具商デパート

具志川商業高校では、生徒の実践的体験学習の一環として模擬株式会社を立ち上げ、企業の協力で商品の販売をします。

■開催日

11月5日 10時～16時

11月6日 10時～15時

【お問い合わせ】

沖縄県具志川商業高等学校
電話 **972-3287**

土地に関する相談 について

10月は「土地月間」です。土地について、下記に関することは各課窓口にご相談下さい。

○大規模な土地取引における 届出について

国土利用計画法では、一定面積以上の土地取引をした場合、契約から2週間以内に届出が必要です。

市街化区域…2,000㎡以上
市街化調整区域…5,000㎡以上

【お問い合わせ】

役場企画課
電話 **895-2131(303)**

○住宅建築のための土地開発 について

村内に土地をお持ちの方や村内で生まれ育った方

【お問い合わせ】

役場都市計画課
電話 **895-2131(281)**

オータムジャンボ 宝くじ発売

『9月26日(月)発売』

1等・前後賞合わせて2億円
この宝くじの収益金は市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

世界遺産琉球王国の 歴史・宿道ウォーク

琉球王国時代に整備された宿道や古道をウォーキングしながら周辺の文化財や自然に親しんでみませんか？

実施期日：10月23日(日)

コース：国王参拝の普天満宮
と中城城跡世界遺産コース

参加費：500円

申込期間：9月12日～10月14日

【申込先】

〒901-2710 宜野湾市野嵩1-1-2
kyoiku08@city.ginowan.okinawa.jp

FAX **893-4434**

参加者の氏名・住所・年齢・性別・電話番号を記入して下さい。
※電話での受付はしていません。

【お問い合わせ】

浦添市教育委員会文化部文化課内
「歩き・み・ふれる歴史の道」
おきなわ中央大会実行委員会事務局
電話 **098(876)1234** (6216/6217)

記念誌発刊資料をお寄せ下さい。

中城村遺族会では終戦60周年の記念事業として記念誌の発刊を計画しています。そこで、村民の皆様へ戦争体験の絵や当時の写真等の資料の提供を呼びかけています。

●依頼内容

- ①戦争体験の絵(手書きでも)
- ②戦争時や戦後の写真(生活や村内の風景等)
- ③戦争に関する「歌」(琉歌・詩等)
- ④戦争に関する新聞ニュース・雑誌資料
- ⑤戦争体験記
(県内・県外を問わず外国での戦争体験記、戦争に関するご意見)

●期間 平成17年9月～12月31日

●連絡先

中城村遺族会
委員長 比嘉武義
委員長 新垣盛繁
委員 比嘉武範
89513467
89513578

村県民税の納期です!!

9月30日は村県民税第2期分の納期となっております。なお、第1期分をまだ納めていない場合は、合わせて納めて頂きますようお願い致します。

【お問い合わせ】中城村税務課 電話 **895-2131(241・242)**

税目	村県民税	固定資産税	軽自動車税
期別			
第1期	6月30日	5月31日	5月31日
第2期	9月30日	8月1日	
第3期	11月30日	12月26日	
第4期	1月31日	2月28日	

10月1日は家族みんなで

OCTOBER 1 IS POPULATION CENSUS DAY.

国勢調査

子どもからお年寄りまで日本に住んでいるすべての方が対象です。

5年に一度の一大イベント
今年国勢調査の年です

●住民記録とは関係なく、**10月1日現在、
ふだん住んでいる場所で、調査票に
記入していただきます。**

●国勢調査は、日本に住んでいる**すべての人
が対象となり、**回答が義務付けられています。

●調査員が皆さんのお宅へ**調査票の配布・
受取**にうかがいます。

●国勢調査は**未来の羅針盤**として、
わたしたちの生活にいかされます。

●国勢調査員をはじめとする

調査関係者には**守秘義務**があり、

調査内容の秘密は保護されます。



マンション、アパートなどの管理人のみなさまへ
調査票の配布に国勢調査員がうかがいます。
調査員へのご協力をよろしくお願いします。

【お問い合わせ】中城村役場企画課統計係 TEL.895-2131

1 8月28日 土 大安	乳児一般健診(吉の浦会館)	1 9月30日 火 友引	
2 8月29日 日 赤口		2 10月1日 水 仏滅	BCGの予防接種(吉の浦会館)
3 9月1日 月 先負		3 10月2日 木 大安	文化の日／村功労者表彰式・じゃがいも植えつけ
4 9月2日 火 仏滅		4 10月3日 金 赤口	ポリオ予防接種(吉の浦会館)
5 9月3日 水 大安		5 10月4日 土 先負	村慰霊祭(老人センター)
6 9月4日 木 赤口	3歳児健診(吉の浦会館)	6 10月5日 日 先勝	
7 9月5日 金 先負		7 10月6日 月 先負	
8 9月6日 土 友引		8 10月7日 火 仏滅	南上原・浜・当間ふれあい事業
9 9月7日 日 先負	軽スポーツ大会の日	9 10月8日 水 大安	リハビリ教室(吉の浦会館)
10 9月8日 月 仏滅	体育の日／親子スポーツ大会(村子連)	10 10月9日 木 赤口	1歳6ヶ月児健診(吉の浦会館)
11 9月9日 火 大安	南上原・浜・当間ふれあい事業	11 10月10日 金 先勝	村童話・意見発表会
12 9月10日 水 赤口	リハビリ教室(吉の浦会館)	12 10月11日 土 友引	
13 9月11日 木 先勝	歯科検診(吉の浦会館)	13 10月12日 日 先負	老・婦連合同運動会
14 9月12日 金 友引		14 10月13日 月 仏滅	
15 9月13日 土 先負		15 10月14日 火 大安	離乳食実習(吉の浦会館)
16 9月14日 日 仏滅		16 10月15日 水 赤口	
17 9月15日 月 大安		17 10月16日 木 先勝	
18 9月16日 火 赤口		18 10月17日 金 友引	奥間ふれあい事業
19 9月17日 水 先勝		19 10月18日 土 先負	
20 9月18日 木 友引		20 10月19日 日 仏滅	
21 9月19日 金 先負	奥間ふれあい事業	21 10月20日 月 大安	
22 9月20日 土 仏滅		22 10月21日 火 赤口	伊舎堂・北上原ふれあい事業
23 9月21日 日 大安		23 10月22日 水 先勝	勤労感謝の日
24 9月22日 月 赤口		24 10月23日 木 友引	
25 9月23日 火 先勝		25 10月24日 金 先負	
26 9月24日 水 友引	リハビリ教室(吉の浦会館)	26 10月25日 土 仏滅	
27 9月25日 木 先負	伊舎堂・北上原ふれあい事業	27 10月26日 日 大安	
28 9月26日 金 仏滅		28 10月27日 月 赤口	
29 9月27日 土 大安		29 10月28日 火 先勝	リハビリ教室(吉の浦会館)
30 9月28日 日 赤口	秋の一斉清掃	30 10月29日 水 友引	
31 9月29日 月 先勝			

行事日程は、変更することがありますので、あらかじめ確認してからお出かけください。

中城村の人口

平成17年8月末現在

人口	15,900(+ 28)
男	8,147(+ 12)
女	7,753(+ 16)
世帯数	5,555(+ 16)

※()内は前月との比較

マナーを守りましょう!!

- ごみは収集日の朝8時00分までに「門口」に出すこと。
(尚、団地・アパート等にお住まいの方は決められた場所に出してください)
- ごみは、収集日以外には絶対出さないこと。
- ごみは、きちんと分別してから出すこと。
- ごみの不法投棄は絶対にしないこと。

住民生活課 Tel.895-2131



8月9日 レッツ スピーク イングリッシュ!

村教育委員会は8月9日から12日までの4日間、小学生3年生以上を対象に英会話教室を開いた。

この時期の子どもは新たな事象に関する興味・関心が強く、異文化に対しても強い関心を示す。英語に触れることで、コミュニケーション能力を高め、国際理解を深めてもらおうと企画したもの。

指導者は英語指導助手(ALT)のジェニファー・アクネさんとヤセミン・チャクマクさん。

津覇小学校3年生の新垣よしのりくんは「ゲームをしながら教えてくれるので、とても覚えやすいし楽しい。また教室があれば行きたい」と話した。中城小学校から参加した中村ひな子さんは「4日間とても楽しかった。お母さんに習いながら、先生に英語で手紙もかいた」と笑顔で話した。



中城村・北中城村・西原町の教育委員会は昨年から中学生フォーラムを実施しており、今回第2回目のフォーラムが7月12日、吉の浦会館で開催された。「生徒会活動を活発にするには」と「4校で取り組めるボランティア活動について」の2テーマのもとに討論が展開。各種委員会との連携の取り方など生徒会活動について、質疑応答が活発に行われた。ボランティア活動については、昨年のフォーラムから引き続き、4校で連携して取り組める事について、話し合いが行われ、「チョボラ」(ほんのちよっとのボランティア)の精神で地域福祉に積極的に関わり合い世界につながるボランティアの心を育てる宣言がなされた。

7月12日 4校で連携を 中学生フォーラム

7月17日 中城中学校空手部全国大会準優勝

中城中学校の空手部が男子形で九州大会優勝、全国大会準優勝と素晴らしい成績をおさめ、9月7日新垣村長に報告が行われた。

九州大会は、記念すべき第1回目の大会での優勝、また全国大会は、僅差で惜しくも準優勝となったが、優勝に劣らない見事な成績を残した。

キャプテンの与那覇くんは、中学校最後の試合となった。儀間君は「最後の大会だったので準優勝という結果は少し悔しい。でも、精一杯頑張った」と話した。比嘉監督は「緊張があって、後一歩及ばなかった。しかし次ぎにつながる良い経験ができた」と話した。

新垣村長は「目の輝きから精神力の強さが感じられる。今後も頑張ってください」と活躍を喜んだ。



8月20日 ようこそ方城町のみなさん 中城村で交流

"城"という文字が縁で交流が始まった福岡県方城町の児童等16名が今年も中城村を訪れた。2泊3日の予定で8月20日に沖縄へ到着し、うち1泊は、村内の家庭で過ごした。

この交流事業は今年で11回目を迎えている。

中城城跡や北部観光のあと、吉の浦で行ったお別れ式では、記念写真をとったり、連絡先を交換しあったりして短すぎる時間を惜しんでいた。

方城町を代表して加来小雪さんは「一緒に楽しい思い出をたくさんつくれました。今度は皆さんが方城町へ遊びに来てください」とあいさつした。

中城村子ども会では今年の2月に初めて方城町を訪問しており、今後も交流を深めていく予定。



の年に25周年を迎えたこともあり、ゲストにバリトン歌手の山田健さんを迎え、平和をイマに「さとうきび畑」や「芭蕉布」などを演奏した山田さんの美しい歌声とオーケストラが一体となり素晴らしい演奏に会場からは盛大な拍手が贈られた。

1980年に県内初のジュニアオーケストラとして発足した中城ジュニアオーケストラの25周年を迎えた記念コンサートが8月14日、うるま市民劇場で開催された。ジュニアオーケストラは、毎年恒例の母の日コンサートを始め、中城まつりや文化まつりなど数多くの音楽活動を展開してきている。

8月14日 25周年記念 コンサートを開催

公民館落成を祝う



南上原南上原公民館の落成式と祝賀会が7月17日、同公民館で盛大に開かれ、多勢の関係者が落成を祝った。

公民館は、老朽化と区画整理のために建て替えられ、大ホールや会議室を備えた全館バリアフリーの造りとなっている。

今後は、新公民館を拠点に夏祭りや敬老会、各種サークルなど活発な活動が展開される。

仲村弘一自治会長は「南上原は区画整理が進んで、市街化が急速に進んでいる。新公民館を拠点として村の中心となるような活動をして行きたい」と落成を喜んだ。

地域の野菜で料理教室



村生活研究会は8月13日、地域の野菜を使った料理教室を開いた。参加者は約30名。モロヘイヤや井やタイモゼリーなど7品を作った。

孫を連れて参加した新垣清子さん(久場)は「孫が料理が好きで、いつもお手伝いをしてくれる。子どもたちにおいしい料理をつくってあげたい」と話した。

地元と共に活気を

地元と共に活気づこうと第一回中城ゴルフ倶楽部グリーンフェスティバルが7月18日中城ゴルフ倶楽部で開催された。

ゲストに阿部敏郎や惣領智子が出演し村内外から2千人近い人が集まり、盛り上がりを見せた。また、同実行委員会から村社協へ3万円の寄付も寄せられた。



老人クラブ活動活発



老人クラブでは年6回、草刈り、清掃などの奉仕活動を取り組んでいる。今回8月10日に災害時に役立ててほしいと土嚢20袋が社会福祉協議会へ寄贈された。また、8月26日には、老人クラブ輪投げ大会も行われた。中学生ボランティアの手助けもあつて、ゲームは盛りあがった。

昔の玩具を作ってふれあう

お年寄り子どもたちが玩具づくりを通してふれあう「子どもと老人のふれあいの集い」が8月16日老人福祉センターで行われた。

老人クラブ、親子つれなど約170名が参加。

子どもたちは、お年寄りに教わりながら竹で作った鉄砲(ハンタマー)やビーズのキーホルダーを作った。

中城小学校3年のかねしこういちくんは「弟と友達とで参加した。竹で鉄砲を作ったのは初めて。夏休みの宿題にもつかえると思う」と水鉄砲遊びに夢中になっていた。

